

03500.016078



PATENT APPLICATION

#2
BT
2181
04-03-02

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of:)
: Examiner: NYA
HIDEHIKO YOKOYAMA)
: Group Art Unit: 2181
Application No.: 10/025,926)
: Filed: December 26, 2001)
: For: MULTIFUNCTIONAL APPARATUS,)
: INFORMATION PROCESSING)
: APPARATUS, DATA PROCESSING)
: METHOD, AND COMPUTER)
: PROGRAM PRODUCT EXECUTED)
: BY THE MULTIFUNCTIONAL)
: APPARATUS OR THE INFORMA-)
: TION PROCESSING APPARATUS)
: March 15, 2002

RECEIVED
MAR 21 2002
Technology Center 2100

Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENTS

Sir:

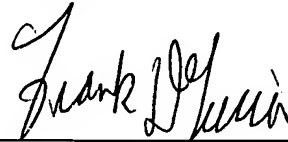
In support of Applicant's claim for priority under 35 U.S.C. § 119, enclosed
are certified copies of the following foreign applications:

2000-401221, filed December 28, 2000; and

2001-350071, filed November 15, 2001.

Applicant's undersigned attorney may be reached in our New York office by telephone at (212) 218-2100. All correspondence should continue to be directed to our address given below.

Respectfully submitted,



Attorney for Applicant

Registration No. _____

42476

FITZPATRICK, CELLA, HARPER & SCINTO
30 Rockefeller Plaza
New York, New York 10112-3801
Facsimile: (212) 218-2200

NY_MAIN 245742 v 1

CF016098 US / 0

10/025,926
BAU 2181



本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年12月28日

RECEIVED

MAR 21 2002

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-401221

Technology Center 2100

[ST.10/C]:

[JP2000-401221]

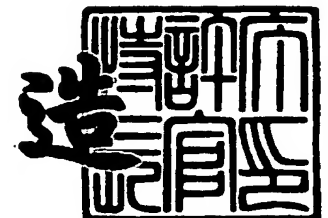
出 願 人
Applicant(s):

キヤノン株式会社

2002年 1月25日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2002-3001019

【書類名】 特許願

【整理番号】 4275082

【提出日】 平成12年12月28日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 13/00

【発明の名称】 複合機能装置および情報処理装置およびデータ処理方法
および記憶媒体

【請求項の数】 45

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会
社内

 【氏名】 横山 英彦

【特許出願人】

 【識別番号】 000001007

 【氏名又は名称】 キヤノン株式会社

 【代表者】 御手洗 富士夫

【代理人】

 【識別番号】 100071711

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 小林 将高

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 006507

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9703712

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 複合機能装置および情報処理装置およびデータ処理方法および記憶媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 所定の通信媒体を介して、任意の情報処理装置あるいは他の複合機能装置と通信可能な複合機能装置であって、

識別情報と該識別情報に関連づけられたアドレス位置情報を管理する管理手段と、

入力される識別情報を前記管理手段に管理されている識別情報と比較して認証する認証手段と、

前記認証手段による認証後、前記管理手段に管理されている識別情報中に前記入力手段から入力された識別情報に対して関連付けられているアドレス位置情報を検索する検索手段と、

前記検索手段により検索された前記アドレス位置情報に基づき、特定の情報処理装置に対して利用可能な通信情報の取得要求を前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置に対して行い、該要求に基づいて前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置から出力される通信情報を取得する取得手段と、を有することを特徴とする複合機能装置。

【請求項 2】 前記取得手段により取得された前記通信情報を表示する表示手段を有することを特徴とする請求項 1 記載の複合機能装置。

【請求項 3】 前記表示手段により表示される通信情報中から所望の通信先候補を選択する選択手段を有することを特徴とする請求項 1 記載の複合機能装置。

【請求項 4】 前記通信情報は、複数の通信先を特定するアドレス情報であることを特徴とする請求項 1～3 のいずれかに記載の複合機能装置。

【請求項 5】 前記アドレス情報は、前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置により自機で利用可能な形式に変換されたアドレス情報であることを特徴とする請求項 3 記載の複合機能装置。

【請求項 6】 前記通信情報は、XML ファイルであることを特徴とする請

求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の複合機能装置。

【請求項 7】 前記管理手段は、不揮発性記憶媒体を利用して前記識別情報と該識別情報に関連づけられたアドレス位置情報を管理することを特徴とする請求項 1 記載の複合機能装置。

【請求項 8】 所定の通信媒体を介して、他の複合機能装置と通信可能な複合機能装置であって、

入力される特定の通信先を決定するための通信情報を管理する管理手段と、

他の複合機能装置から通信情報の取得要求を受信する受信手段と、

前記受信手段により受信した前記取得要求に基づき、前記管理手段により管理されている前記通信情報を要求元の他の複合機能装置が利用可能な通信情報に変換する変換手段と、

前記変換手段により変換された前記通信情報を要求元の他の複合機能装置に転送する転送手段と、

を有することを特徴とする複合機能装置。

【請求項 9】 前記通信情報は、XML ファイルであることを特徴とする請求項 8 記載の複合機能装置。

【請求項 10】 前記管理手段は、不揮発性記憶媒体を利用して前記 XML ファイルを管理することを特徴とする請求項 8 記載の複合機能装置。

【請求項 11】 前記転送手段は、所定のプロトコルで前記通信情報を転送することを特徴とする請求項 8 記載の複合機能装置。

【請求項 12】 所定の通信媒体を介して、所定の複合機能処理を実行する複合機能装置と通信可能な情報処理装置であって、

入力される特定の通信先を決定するための通信情報を管理する管理手段と、

前記複合機能装置から通信情報の取得要求を受信する受信手段と、

前記受信手段により受信した前記取得要求に基づき、前記管理手段により管理されている前記通信情報を要求元の複合機能装置が利用可能な通信情報に変換する変換手段と、

前記変換手段により変換された前記通信情報を要求元の複合機能装置に転送する転送手段と、

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 13】 前記通信情報は、XMLファイルであることを特徴とする請求項 12 記載の情報処理装置。

【請求項 14】 前記管理手段は、不揮発性記憶媒体を利用して、複数の通信先を特定するアドレス情報を管理することを特徴とする請求項 12 記載の情報処理装置。

【請求項 15】 前記転送手段は、所定のプロトコルで前記通信情報を転送することを特徴とする請求項 12 記載の情報処理装置。

【請求項 16】 所定の通信媒体を介して、任意の情報処理装置あるいは他の複合機能装置と通信可能な複合機能装置におけるデータ処理方法であって、

識別情報と該識別情報に関連づけられたアドレス位置情報を管理する管理ステップと、

入力される識別情報を前記管理ステップに管理されている識別情報と比較して認証する認証ステップと、

前記認証ステップによる認証後、前記管理ステップに管理されている識別情報中に入力された識別情報に対して関連付けられているアドレス位置情報を検索する検索ステップと、

前記検索ステップにより検索された前記アドレス位置情報に基づき、特定の情報処理装置に対して利用可能な通信情報の取得要求を前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置に対して行い、該要求に基づいて前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置から出力される通信情報を取得する取得ステップと

を有することを特徴とするデータ処理方法。

【請求項 17】 前記取得ステップにより取得された前記通信情報を表示手段に表示する表示ステップを有することを特徴とする請求項 16 記載の複合機能装置。

【請求項 18】 前記表示手段により表示される通信情報中から所望の通信先候補を選択する選択ステップを有することを特徴とする請求項 16 記載のデータ処理方法。

【請求項 1 9】 前記通信情報は、複数の通信先を特定するアドレス情報であることを特徴とする請求項 1 6 ～ 1 8 のいずれかに記載のデータ処理方法。

【請求項 2 0】 前記アドレス情報は、前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置により自機で利用可能な形式に変換されたアドレス情報であることを特徴とする請求項 1 9 記載のデータ処理方法。

【請求項 2 1】 前記通信情報は、XML ファイルであることを特徴とする請求項 1 6 ～ 1 9 のいずれかに記載のデータ処理方法。

【請求項 2 2】 前記管理ステップは、不揮発性記憶媒体を利用して前記識別情報と該識別情報に関連づけられたアドレス位置情報を管理することを特徴とする請求項 1 6 記載のデータ処理方法。

【請求項 2 3】 所定の通信媒体を介して、他の複合機能装置と通信可能な複合機能装置におけるデータ処理方法であって、

入力される特定の通信先を決定するための通信情報を管理する管理ステップと

、
他の複合機能装置から通信情報の取得要求を受信する受信ステップと、

前記受信ステップにより受信した前記取得要求に基づき、前記管理ステップにより管理されている前記通信情報を要求元の他の複合機能装置が利用可能な通信情報に変換する変換ステップと、

前記変換ステップにより変換された前記通信情報を要求元の他の複合機能装置に転送する転送ステップと、

を有することを特徴とするデータ処理方法。

【請求項 2 4】 前記通信情報は、XML ファイルであることを特徴とする請求項 2 3 記載のデータ処理方法。

【請求項 2 5】 前記管理ステップは、不揮発性記憶媒体を利用して前記 XML ファイルを管理することを特徴とする請求項 2 3 記載のデータ処理方法。

【請求項 2 6】 前記転送ステップは、所定のプロトコルで前記通信情報を転送することを特徴とする請求項 2 3 記載のデータ処理方法。

【請求項 2 7】 所定の通信媒体を介して、所定の複合機能処理を実行する複合機能装置と通信可能な情報処理装置におけるデータ処理方法であって、

入力される特定の通信先を決定するための通信情報を管理する管理ステップと

前記複合機能装置から通信情報の取得要求を受信する受信ステップと、

前記受信ステップにより受信した前記取得要求に基づき、前記管理ステップにより管理されている前記通信情報を要求元の複合機能装置が利用可能な通信情報に変換する変換ステップと、

前記変換ステップにより変換された前記通信情報を要求元の複合機能装置に転送する転送ステップと、

を有することを特徴とするデータ処理方法。

【請求項 2 8】 前記通信情報は、XML ファイルであることを特徴とする請求項 2 7 記載のデータ処理方法。

【請求項 2 9】 前記管理ステップは、不揮発性記憶媒体を利用して複数の通信先を特定するアドレス情報を管理することを特徴とする請求項 2 7 記載のデータ処理方法。

【請求項 3 0】 前記転送ステップは、所定のプロトコルで前記通信情報を転送することを特徴とする請求項 2 7 記載のデータ処理方法。

【請求項 3 1】 所定の通信媒体を介して、任意の情報処理装置あるいは他の複合機能装置と通信可能な複合機能装置に、

識別情報と該識別情報に関連づけられたアドレス位置情報を管理する管理ステップと、

入力される識別情報を前記管理ステップに管理されている識別情報と比較して認証する認証ステップと、

前記認証ステップによる認証後、前記管理ステップに管理されている識別情報中に入力された識別情報に対して関連付けられているアドレス位置情報を検索する検索ステップと、

前記検索ステップにより検索された前記アドレス位置情報に基づき、特定の情報処理装置に対して利用可能な通信情報の取得要求を前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置に対して行い、該要求に基づいて前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置から出力される通信情報を取得する取得ステップと

を実行させるためのプログラムを記録したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 3 2】 前記取得ステップにより取得された前記通信情報を表示手段に表示する表示ステップを有することを特徴とする請求項 3 1 記載の記憶媒体。

【請求項 3 3】 前記表示手段により表示される通信情報中から所望の通信先候補を選択する選択ステップを有することを特徴とする請求項 3 2 記載の記憶媒体。

【請求項 3 4】 前記通信情報は、複数の通信先を特定するアドレス情報であることを特徴とする請求項 3 1 ～ 3 3 のいずれかに記載の記憶媒体。

【請求項 3 5】 前記アドレス情報は、前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置により自機で利用可能な形式に変換されたアドレス情報であることを特徴とする請求項 3 3 記載の記憶媒体。

【請求項 3 6】 前記通信情報は、XML ファイルであることを特徴とする請求項 3 1 ～ 3 4 のいずれかに記載の記憶媒体。

【請求項 3 7】 前記管理ステップは、不揮発性記憶媒体を利用して前記識別情報と該識別情報に関連づけられたアドレス位置情報を管理することを特徴とする請求項 3 1 記載の記憶媒体。

【請求項 3 8】 所定の通信媒体を介して、他の複合機能装置と通信可能な複合機能装置に、

入力される特定の通信先を決定するための通信情報を管理する管理ステップと

他の複合機能装置から通信情報の取得要求を受信する受信ステップと、

前記受信ステップにより受信した前記取得要求に基づき、前記管理ステップにより管理されている前記通信情報を要求元の他の複合機能装置が利用可能な通信情報に変換する変換ステップと、

前記変換ステップにより変換された前記通信情報を要求元の他の複合機能装置に転送する転送ステップとを実行させるためのプログラムを記録したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 3 9】 前記通信情報は、XMLファイルであることを特徴とする請求項 3 8 記載の記憶媒体。

【請求項 4 0】 前記管理ステップは、不揮発性記憶媒体を利用して前記XMLファイルを管理することを特徴とする請求項 3 8 記載の記憶媒体。

【請求項 4 1】 前記転送ステップは、所定のプロトコルで前記通信情報を転送することを特徴とする請求項 3 8 記載の記憶媒体。

【請求項 4 2】 所定の通信媒体を介して、所定の複合機能処理を実行する複合機能装置と通信可能な情報処理装置に、

入力される特定の通信先を決定するための通信情報を管理する管理ステップと

前記複合機能装置から通信情報の取得要求を受信する受信ステップと、

前記受信ステップにより受信した前記取得要求に基づき、前記管理ステップにより管理されている前記通信情報を要求元の複合機能装置が利用可能な通信情報に変換する変換ステップと、

前記変換ステップにより変換された前記通信情報を要求元の複合機能装置に転送する転送ステップとを実行させるためのプログラムを記録したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 4 3】 前記通信情報は、XMLファイルであることを特徴とする請求項 4 2 記載の記憶媒体。

【請求項 4 4】 前記管理ステップは、不揮発性記憶媒体を利用して複数の通信先を特定するアドレス情報を管理することを特徴とする請求項 4 2 記載の記憶媒体。

【請求項 4 5】 前記転送ステップは、所定のプロトコルで前記通信情報を転送することを特徴とする請求項 4 2 記載の記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、所定の通信媒体を介して、任意の情報処理装置あるいは他の複合機能装置と通信可能な複合機能装置および情報処理装置およびデータ処理方法およ

び記憶媒体に関するものである。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来、複合機能装置からファクシミリ送信等の指定宛先に対するデータ送信を行う場合、宛先を指定する際のアドレス情報は、情報処理装置あるいは複合機能装置に各々独立して管理されていた。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら上記従来技術では、通常は情報処理装置からリモートで複合機能装置に接続し、ファクシミリ送信等のデータ送信を行う場合には、アドレス情報は情報処理装置で管理されるが、複合機能装置を直接操作してデータ送信を行おうとすると、複合機能装置で操作可能なアドレス帳は、これまで管理してきた情報処理装置のアドレス帳とは異なるため、適切なアドレス情報を取得できなかった。

【 0 0 0 4 】

本発明は、上記の問題点を解決するためになされたもので、本発明の第 1 の目的は、入力される識別情報を管理されている識別情報と比較して認証した後入力された識別情報に対して関連付けられているアドレス位置情報を検索し、該検索された前記アドレス位置情報に基づき、特定の情報処理装置に対して利用可能な通信情報の取得要求を前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置に対して行い、該要求に基づいて特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置から出力される通信情報を取得することにより、自機以外の特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置で管理されている通信情報を共有情報として容易に利用することができる利便性に優れたデータ処理環境を自在に構築することができる複合機能装置および情報処理装置およびデータ処理方法および記憶媒体を提供することである。

【 0 0 0 5 】

また、第 2 の目的は、複合機能装置または情報処理装置が他の複合機能装置から要求される通信情報を受信した場合に、該他の複合機能装置で利用可能な通信

情報に変換して要求元の複合機能装置に転送することにより、複合機能装置または情報処理装置が独自のデータ形式で管理されている他の通信情報であっても、他の複合機能装置で容易に利用することができる利便性に優れたデータ処理環境を自在に構築することができる複合機能装置および情報処理装置およびデータ処理方法および記憶媒体を提供することである。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

本発明に係る第 1 の発明は、所定の通信媒体を介して、任意の情報処理装置あるいは他の複合機能装置と通信可能な複合機能装置であって、識別情報と該識別情報に関連づけられたアドレス位置情報を管理する管理手段（図 4 に示すアドレス帳制御部 4 0 5 がシステム記憶域 4 1 1 を介して管理する構成に相当）と、入力される識別情報を前記管理手段に管理されている識別情報と比較して認証する認証手段（アクセス制御部 4 1 0 がユーザインタフェース制御部 4 0 4 から引き渡される、入力された識別情報をシステム記憶域 4 1 1 に記憶された識別情報と比較して認証処理する構成に相当）と、前記認証手段による認証後、前記管理手段に管理されている識別情報中に前記入力手段から入力された識別情報に対して関連付けられているアドレス位置情報を検索する検索手段（図 4 に示すシステム制御部 4 0 3 が認証された識別情報をシステム記憶域 4 1 1 に記憶された識別情報に対応付けられた通信情報としてのアドレス位置情報を検索処理する構成に相当）と、前記検索手段により検索された前記アドレス位置情報に基づき、特定の情報処理装置に対して利用可能な通信情報の取得要求を前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置に対して行い、該要求に基づいて前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置から出力される通信情報を取得する取得手段（図 4 に示すシステム制御部 4 0 3 が出力制御部 4 1 0 を介して、図 2 に示すネットワーク上の情報処理装置 2 0 2 または複合機能装置 2 0 1 で独自管理されている通信情報としてのアドレスファイルを取得処理する構成に相当）とを有するものである。

【 0 0 0 7 】

本発明に係る第 2 の発明は、前記取得手段により取得された前記通信情報を表

示する表示手段（図 6 に示すタッチパネル 6 0 6 上に外部アドレスとして内部管理されているアドレスと識別可能に表示する構成に相当）を有するものである。

【 0 0 0 8 】

本発明に係る第 3 の発明は、前記表示手段により表示される通信情報中から所望の通信先候補を選択する選択手段（図 6 に示すタッチパネル 6 0 6 により選択する構成に相当）を有するものである。

【 0 0 0 9 】

本発明に係る第 4 の発明は、前記通信情報は、複数の通信先を特定するアドレス情報（図 6 に示すタッチパネル 6 0 6 上に外部アドレス（例えば宛先 1 ～ 3 として）複数表示する構成に相当）である。

【 0 0 1 0 】

本発明に係る第 5 の発明は、前記アドレス情報は、前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置により自機で利用可能な形式（例えば XML 形式）に変換されたアドレス情報である。

【 0 0 1 1 】

本発明に係る第 6 の発明は、前記通信情報は、XML ファイルである。

【 0 0 1 2 】

本発明に係る第 7 の発明は、前記管理手段は、不揮発性記憶媒体（図 4 に示すシステム記憶域 4 1 1 に相当）を利用して前記識別情報と該識別情報に関連づけられたアドレス位置情報を管理するものである。

【 0 0 1 3 】

本発明に係る第 8 の発明は、所定の通信媒体を介して、他の複合機能装置と通信可能な複合機能装置であって、入力される特定の通信先を決定するための通信情報を管理する管理手段（図 4 に示すシステム制御部 4 0 3 が図 4 に示すシステム記憶域を介して通信情報としてのアドレス情報を管理する構成に相当）と、他の複合機能装置から通信情報の取得要求を受信する受信手段（図 4 に示す入力制御部 4 0 1 に相当）と、前記受信手段により受信した前記取得要求に基づき、前記管理手段により管理されている前記通信情報を要求元の他の複合機能装置が利用可能な通信情報に変換する変換手段（図 4 に示すシステム制御部 4 0 3 が例え

ばXML形式に変換する構成に相当)と、前記変換手段により変換された前記通信情報を要求元の他の複合機能装置に転送する転送手段(図4に示す出力制御部410に相当)とを有するものである。

【0014】

本発明に係る第9の発明は、前記通信情報は、XMLファイルである。

【0015】

本発明に係る第10の発明は、前記管理手段は、不揮発性記憶媒体(図4に示すシステム記憶域411に相当)を利用して前記XMLファイルを管理するものである。

【0016】

本発明に係る第11の発明は、前記転送手段は、所定のプロトコルで前記通信情報を転送するものである。

【0017】

本発明に係る第12の発明は、所定の通信媒体を介して、所定の複合機能処理を実行する複合機能装置と通信可能な情報処理装置であって、入力される特定の通信先を決定するための通信情報を管理する管理手段(図1に示すCPU101がハードディスク112を介して通信情報としてのアドレス情報を管理する構成に相当)と、前記複合機能装置から通信情報の取得要求を受信する受信手段(図1に示すネットワークコントローラ107に相当)と、前記受信手段により受信した前記取得要求に基づき、前記管理手段により管理されている前記通信情報を要求元の複合機能装置が利用可能な通信情報に変換する変換手段(図1に示すCPU101が例えば独自管理されるアドレス情報をXML形式のデータに変換処理する構成に相当)と、前記変換手段により変換された前記通信情報を要求元の複合機能装置に転送する転送手段(図1に示すネットワークコントローラ107に相当)とを有するものである。

【0018】

本発明に係る第13の発明は、前記通信情報は、XMLファイルである。

【0019】

本発明に係る第14の発明は、前記管理手段は、不揮発性記憶媒体(図1に示

すハードディスク 1 1 2 に相当) を利用して複数の通信先を特定するアドレス情報を管理するものである。

【 0 0 2 0 】

本発明に係る第 1 5 の発明は、前記転送手段は、所定のプロトコル (例えば T C P / I P) で前記通信情報を転送するものである。

【 0 0 2 1 】

本発明に係る第 1 6 の発明は、所定の通信媒体を介して、任意の情報処理装置あるいは他の複合機能装置と通信可能な複合機能装置におけるデータ処理方法であって、識別情報と該識別情報に関連づけられたアドレス位置情報を管理する管理ステップ (図示しない) と、入力される識別情報を前記管理ステップに管理されている識別情報と比較して認証する認証ステップ (図 1 0 に示すステップ S 5 0 2) と、前記認証ステップによる認証後、前記管理ステップに管理されている識別情報中に入力された識別情報に対して関連付けられているアドレス位置情報を検索する検索ステップ (図 1 0 に示すステップ S 5 0 3) と、前記検索ステップにより検索された前記アドレス位置情報に基づき、特定の情報処理装置に対して利用可能な通信情報の取得要求を前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置に対して行い、該要求に基づいて前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置から出力される通信情報を取得する取得ステップ (図 1 0 に示すステップ S 5 0 4) とを有するものである。

【 0 0 2 2 】

本発明に係る第 1 7 の発明は、前記取得ステップにより取得された前記通信情報を表示手段に表示する表示ステップ (図示しない) を有するものである。

【 0 0 2 3 】

本発明に係る第 1 8 の発明は、前記表示手段により表示される通信情報中から所望の通信先候補を選択する選択ステップ (図示しない) を有するものである。

【 0 0 2 4 】

本発明に係る第 1 9 の発明は、前記通信情報は、複数の通信先を特定するアドレス情報である。

【 0 0 2 5 】

本発明に係る第 2 0 の発明は、前記アドレス情報は、前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置により自機で利用可能な形式に変換されたアドレス情報である。

【 0 0 2 6 】

本発明に係る第 2 1 の発明は、前記通信情報は、XMLファイルである。

【 0 0 2 7 】

本発明に係る第 2 2 の発明は、前記管理ステップは、不揮発性記憶媒体を利用して前記識別情報と該識別情報に関連づけられたアドレス位置情報を管理するものである。

【 0 0 2 8 】

本発明に係る第 2 3 の発明は、所定の通信媒体を介して、他の複合機能装置と通信可能な複合機能装置におけるデータ処理方法であって、入力される特定の通信先を決定するための通信情報を管理する管理ステップ（図示しない）と、他の複合機能装置から通信情報の取得要求を受信する受信ステップ（図示しない）と、前記受信ステップにより受信した前記取得要求に基づき、前記管理ステップにより管理されている前記通信情報を要求元の他の複合機能装置が利用可能な通信情報に変換する変換ステップ（図示しない）と、前記変換ステップにより変換された前記通信情報を要求元の他の複合機能装置に転送する転送ステップ（図示しない）とを有するものである。

【 0 0 2 9 】

本発明に係る第 2 4 の発明は、前記通信情報は、XMLファイルである。

【 0 0 3 0 】

本発明に係る第 2 5 の発明は、前記管理ステップは、不揮発性記憶媒体を利用して前記XMLファイルを管理するものである。

【 0 0 3 1 】

本発明に係る第 2 6 の発明は、前記転送ステップは、所定のプロトコルで前記通信情報を転送するものである。

【 0 0 3 2 】

本発明に係る第 2 7 の発明は、所定の通信媒体を介して、所定の複合機能処理

を実行する複合機能装置と通信可能な情報処理装置におけるデータ処理方法であって、入力される特定の通信先を決定するための通信情報を管理する管理ステップ（図示しない）と、前記複合機能装置から通信情報の取得要求を受信する受信ステップ（図示しない）と、前記受信ステップにより受信した前記取得要求に基づき、前記管理ステップにより管理されている前記通信情報を要求元の複合機能装置が利用可能な通信情報に変換する変換ステップ（図示しない）と、前記変換ステップにより変換された前記通信情報を要求元の複合機能装置に転送する転送ステップ（図示しない）とを有するものである。

【 0 0 3 3 】

本発明に係る第 2 8 の発明は、前記通信情報は、XML ファイルである。

【 0 0 3 4 】

本発明に係る第 2 9 の発明は、前記管理ステップは、不揮発性記憶媒体を利用して複数の通信先を特定するアドレス情報を管理するものである。

【 0 0 3 5 】

本発明に係る第 3 0 の発明は、前記転送ステップは、所定のプロトコルで前記通信情報を転送するものである。

【 0 0 3 6 】

本発明に係る第 3 1 の発明は、所定の通信媒体を介して、任意の情報処理装置あるいは他の複合機能装置と通信可能な複合機能装置に、識別情報と該識別情報に関連づけられたアドレス位置情報を管理する管理ステップ（図示しない）と、入力される識別情報を前記管理ステップに管理されている識別情報と比較して認証する認証ステップ（図 1 0 に示すステップ S 5 0 2）と、前記認証ステップによる認証後、前記管理ステップに管理されている識別情報中に入力された識別情報に対して関連付けられているアドレス位置情報を検索する検索ステップ（図 1 0 に示すステップ S 5 0 3）と、前記検索ステップにより検索された前記アドレス位置情報に基づき、特定の情報処理装置に対して利用可能な通信情報の取得要求を前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置に対して行い、該要求に基づいて前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置から出力される通信情報を取得する取得ステップ（図 1 0 に示すステップ S 5 0 4）とを実行させる

ためのプログラムを記録媒体にコンピュータが読み取り可能に記録させたものである。

【 0 0 3 7 】

本発明に係る第 3 2 の発明は、前記取得ステップにより取得された前記通信情報を表示手段に表示する表示ステップ（図示しない）を有するものである。

【 0 0 3 8 】

本発明に係る第 3 3 の発明は、前記表示手段により表示される通信情報中から所望の通信先候補を選択する選択ステップ（図示しない）を有するものである。

【 0 0 3 9 】

本発明に係る第 3 4 の発明は、前記通信情報は、複数の通信先を特定するアドレス情報である。

【 0 0 4 0 】

本発明に係る第 3 5 の発明は、前記アドレス情報は、前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置により自機で利用可能な形式に変換されたアドレス情報である。

【 0 0 4 1 】

本発明に係る第 3 6 の発明は、前記通信情報は、XML ファイルである。

【 0 0 4 2 】

本発明に係る第 3 7 の発明は、前記管理ステップは、不揮発性記憶媒体を利用して前記識別情報と該識別情報に関連づけられたアドレス位置情報を管理するものである。

【 0 0 4 3 】

本発明に係る第 3 8 の発明は、所定の通信媒体を介して、他の複合機能装置と通信可能な複合機能装置に、入力される特定の通信先を決定するための通信情報を管理する管理ステップ（図示しない）と、他の複合機能装置から通信情報の取得要求を受信する受信ステップ（図示しない）と、前記受信ステップにより受信した前記取得要求に基づき、前記管理ステップにより管理されている前記通信情報を要求元の他の複合機能装置が利用可能な通信情報に変換する変換ステップ（図示しない）と、前記変換ステップにより変換された前記通信情報を要求元の他

の複合機能装置に転送する転送ステップ（図示しない）とを実行させるためのプログラムを記録媒体にコンピュータが読み取り可能に記録させたものである。

【 0 0 4 4 】

本発明に係る第 3 9 の発明は、前記通信情報は、XML ファイルである。

【 0 0 4 5 】

本発明に係る第 4 0 の発明は、前記管理ステップは、不揮発性記憶媒体を利用して前記 XML ファイルを管理するものである。

【 0 0 4 6 】

本発明に係る第 4 1 の発明は、前記転送ステップは、所定のプロトコルで前記通信情報を転送するものである。

【 0 0 4 7 】

本発明に係る第 4 2 の発明は、所定の通信媒体を介して、所定の複合機能処理を実行する複合機能装置と通信可能な情報処理装置に、入力される特定の通信先を決定するための通信情報を管理する管理ステップ（図示しない）と、前記複合機能装置から通信情報の取得要求を受信する受信ステップ（図示しない）と、前記受信ステップにより受信した前記取得要求に基づき、前記管理ステップにより管理されている前記通信情報を要求元の複合機能装置が利用可能な通信情報に変換する変換ステップ（図示しない）と、前記変換ステップにより変換された前記通信情報を要求元の複合機能装置に転送する転送ステップ（図示しない）とを実行させるためのプログラムを記録媒体にコンピュータが読み取り可能に記録させたものである。

【 0 0 4 8 】

本発明に係る第 4 3 の発明は、前記通信情報は、XML ファイルである。

【 0 0 4 9 】

本発明に係る第 4 4 の発明は、前記管理ステップは、不揮発性記憶媒体を利用して複数の通信先を特定するアドレス情報を管理するものである。

【 0 0 5 0 】

本発明に係る第 4 5 の発明は、前記転送ステップは、所定のプロトコルで前記通信情報を転送するものである。

【 0 0 5 1 】

【発明の実施の形態】

〔第 1 実施形態〕

図 1 は、本発明の第 1 実施形態を示す情報処理装置のシステム構成を説明するブロック図である。

【 0 0 5 2 】

図 1 において、101 は CPU で、該 CPU 101 は RAM 102 などに記憶されたプログラムを実行したり、フロッピーディスクドライブ (Floppy Drive) 110 に挿入された図 11 のフロッピーディスク (FD) 1302 やハードディスク (Hard Disk) 112 に保存されているプログラムやデータを RAM 102 にロードしたり、逆に RAM 102 の内容を FD 1302 やハードディスク 112 に保存する。

【 0 0 5 3 】

103 はビデオコントローラ (Video Controller) で、接続されたモニタ 104 に処理情報などを投影する。106 はキーボード及びマウス等の入力装置 (Keyboard Mouse) で、これらの装置からの入力はコントローラ 105 を経由して CPU 101 で動作しているプログラムによって処理される。114 はスキャナ、プリンタ、ファクシミリ等の複数の機能 (マルチファンクション) を有する複合機能装置 (MFP) で、パラレルポートコントローラ (Parallel Port Controller) 113 に接続されるか、あるいは、図 2 に示す MPF 201 のように、直接ネットワークに接続することも可能である。CPU、RAM 及び各コントローラは内部バス 115 に接続されており、制御情報やデータの交換を行う。

【 0 0 5 4 】

107 はネットワークコントローラ (Network Controller) で、ハブ (HUB) 108 を介して接続されるネットワーク機器との通信を制御する。109 はフロッピーディスクドライブコントローラ (Floppy Drive Controller) で、フロッピーディスクドライブ (Floppy Drive) 110 にセットされるフロッピーディスクとのアクセス

を制御する。111はハードディスクコントローラ (Hard Drive Controller) で、ハードディスク (Hard Disk) 112とのアクセスを制御する。

【0055】

図2は、本発明に係る情報処理装置、複合機能装置のネットワーク構成を説明する図であり、マルチファンクション機能を備える画像処理装置を情報処理装置116に所定のネットワーク204を介して接続するシステム例に対応する。

【0056】

図2において、201、203は複合機能装置 (MFP) で、図示しない公衆回線を介してファクシミ送受信処理を実行可能に構成されている。202は情報処理装置で、ネットワークアドレスとして、例えば「172.20.1.12」が割り当てられているもの、さらに、MFP203には、ネットワークアドレスとして、例えば「172.20.1.1」が割り当てられているものとする。

【0057】

図3は、図1に示した情報処理装置202内のソフトウェア構成を説明するブロック図である。

【0058】

図3において、301はネットワークドライバで、図1に示したネットワークコントローラ107を制御し、例えば図2に示すネットワーク204を介してデータの入出力を行う。

【0059】

302はWWWサーバで、ネットワークドライバ301から渡されたHTTPパケットを認識し、指定されたデータを出力する。アドレス情報変換プログラム303はWWWサーバ302から起動され、アドレス帳管理プログラム304を操作して、ハードディスク等に確保されるアドレス帳305に登録されているアドレスを、図2に示すMFP201、203等で処理可能なアドレス情報に変換する。

【0060】

306はFAXドライバで、アプリケーションプログラム307からのファク

シミリ送信要求により指定された画像や文書情報をFAX送信に適した形式に変換し、パラレルポートドライバ308やネットワークドライバに出力したり、アドレス帳管理プログラム304を操作して、アドレス帳にアドレスを登録したり、登録されているアドレスを取得する。パラレルポートドライバ308は、図1のパラレルポートコントローラ113を制御して、FAXドライバから出力されたデータを、パラレルポートに接続された複合機能装置に送信する。

【0061】

図4は、図2に示したMFP201、203の制御構成を説明するブロック図である。

【0062】

図4において、401は入力制御部で、ネットワーク等の通信媒体からの制御情報及びデータを取得し、制御データ解析部402で制御情報及びデータを解析しシステム制御部403に指示を出す。システム制御部403では、制御データ解析部402、ユーザインタフェース制御部404、アドレス帳制御部405、アクセス制御部410、印刷制御部406、スキャナ制御部407およびFAX制御部408からの指示を受けると共に各部に対して指示を出す。

【0063】

例えば、ユーザインタフェース制御部404からコピー処理の指示があると、システム制御部403は、スキャナ制御部407にスキャンを指示し原稿台から給送された原稿をスキャンした画像データを描画メモリ409に保持し、このデータの印刷指示を印刷制御部406に行うことでコピー処理を行う。

【0064】

また、スキャナ制御部405で読み込んだ画像データやFAX制御部408で受信したファクシミリ画像データは宛先情報などとともに、出力制御部410により他の装置に送信される。

【0065】

図5は、図2に示したMFP201、203の操作パネルの一例を示す平面図であり、ファクシミリボタンが押されたファクシミリモードでの表示例を示している。

【 0 0 6 6 】

図 5 において、6 0 1 はコピーボタン、6 0 2 はファクシミリボタン、6 0 3 は拡張ボタンで、各ボタンを押すことにより、複合機能装置の動作モードが変更され、これに伴いタッチパネル 6 0 6 の表示内容が変化する。タッチパネル 6 0 6 は各動作モードの入力項目や機器の状態を表示すると同時に、ユーザが直接パネルを触ることにより設定変更や入力をすることも可能である。

【 0 0 6 7 】

6 0 4 は入力キーで、コピーモードでのコピー部数設定や、ファクシミリモードでの宛先（ファクシミリ番号）指定に用いる。6 0 5 はスタートボタンで、これを押すことにより、現在のタッチパネル 6 0 6 に表示された設定で、コピーやファクシミリ送信を開始する。

【 0 0 6 8 】

6 0 7 は宛先表示欄で、入力キー 6 0 4 によって入力したファクシミリ番号を表示し、登録ボタン 6 0 8 を押すことにより、このファクシミリ番号を宛先として登録する。一覧ボタン 6 1 0 を押すと、宛先として登録されたファクシミリ番号の一覧をタッチパネル 6 0 6 に表示する。解像度ボタン 6 1 1、画質ボタン 6 1 2 が押されると、夫々送信解像度、送信画質を設定する画面をタッチパネル 6 0 6 に表示する。

【 0 0 6 9 】

図 6 は、図 5 に示したタッチパネル 6 0 6 に表示される操作画面の一例を示す図であり、図 5 に示したアドレスボタン 6 0 9 が押された時に、タッチパネル 6 0 6 に表示されるアドレス一覧パネル表示例である。6 1 3 はオプションキーで、該オプションキー 6 1 3 の押下指示に基づき、後述する図 7 に示すアドレス情報入力用の操作画面等をタッチパネル 6 0 6 に表示する。

【 0 0 7 0 】

図 6 において、8 0 1 はアドレス一覧で、該アドレス一覧 8 0 1 には、外部アドレスボタン 8 0 4 を押すと予め他の情報処理装置あるいは M F P から取得したアドレス情報の一覧が、機器アドレスボタン 8 0 7 を押すと M F P 内に登録されている機器アドレスの一覧がタッチパネル 6 0 6 に表示される。

【 0 0 7 1 】

8 0 2, 8 0 3 はスクロールボタンで、アドレス一覧の表示内容を夫々上下に移動するものである。8 0 5 は登録ボタンで、反転表示しているアドレスを送信先として登録する。なお、戻るボタン 8 0 6 を押すと、パネル表示は図 5 に示したタッチパネル 6 0 6 の表示に切り替わる。

【 0 0 7 2 】

図 7 は、図 5 に示したタッチパネル 6 0 6 に表示される操作画面の一例を示す図であり、図 5 に示したオプションボタン 6 1 3 を押すことで、タッチパネル 6 0 6 が切り替わって表示されるアドレス情報 URL の設定画面例である。

【 0 0 7 3 】

図 7 において、9 0 1 は現在処理を行っているユーザに対するアドレス情報 URL を設定する入力域で、タッチパネルキーボード 9 0 2 あるいは図 5 に示した入力キー 6 0 4 を押すことで、対応する文字／数字／記号が入力される。そして、設定ボタン 9 0 3 を押すと、入力域 9 0 1 に入力されている文字列を、例えば図 8 に示すようなユーザテーブル（図 4 に示す M F P の内部のシステム記憶域 4 1 1 に確保される）に保存する。

【 0 0 7 4 】

なお、ユーザ名及びパスワードは、当該複合機能装置の管理者によって予め登録されるものとする。

【 0 0 7 5 】

図 8 は、図 2 に示した M F P 2 0 1, 2 0 3 のシステム記憶域に確保されるユーザテーブルの一例を示す図であり、ユーザ名、パスワード、アドレス情報 URL から構成されている。

【 0 0 7 6 】

図 9 は、図 5 に示したタッチパネル 6 0 6 に表示される操作画面の一例を示す図であり、M F P 使用者に対するユーザ名、パスワード入力催促画面に対応する。

【 0 0 7 7 】

図 9 において、複合機能装置（M F P）を起動すると、図 9 に示すような、当

該MFPを使用するためのユーザ名とパスワードの入力を促す画面が図5に示したタッチパネル606に表示される。MFP使用者は、図5に示した入力キー604によりユーザ名とパスワードを入力する。

【0078】

以下、図2のMFP201から情報処理装置202のアドレス情報を取得する場合を例として、図10に示すフローチャートを用いて説明する。

【0079】

図10は、本発明に係るMFPにおけるデータ処理手順の一例を示すフローチャートであり、図2に示したMFP201、203におけるアドレス情報取得処理手順に対応する。なお、S501～S507は各ステップを示す。

【0080】

例えばMFP203を起動すると、図9に示すような、当該MFPを使用するためのユーザ名とパスワードの入力を促す画面が図5に示したタッチパネル606に表示される。

【0081】

ここで、MFP使用者は、図5に示した入力キー604によりユーザ名とパスワードを入力する。

【0082】

まず、ステップS501では、図9に示した実行ボタン703が押されたかどうかを判定し、押されるまで入力待ち状態となる。そして、実行ボタン703が押されると、ステップS502で、図9に示したのユーザ名701及びパスワード702に入力された文字列が、当該MFPの管理者の操作により、図8に示したユーザテーブルに予め登録された、各々の文字列と等しい（認証OK）かどうかを判定し、等しくなければステップS501の実行ボタン703による入力待ちを繰り返す。

【0083】

一方、ステップS502で、ユーザ名及びパスワードが、ユーザテーブルに登録されたものと等しいとアクセス制御部410が判定した場合、ステップS503で、システム制御部403は入力されたユーザ名に対するアドレス情報URL

項目が設定されているかどうかを判定する。

【0084】

例えば図8に示すアドレス情報URL項目1002の様に、該アドレス情報URL項目が空白であるとアクセス制御部410が判定した場合、ステップS507で外部アドレスボタン表示フラグを「OFF」に設定して、処理を終了する。

【0085】

一方、ステップS503で、アドレス情報URLが設定されているとアクセス制御部410が判定した場合、ステップS504で、URL項目のホスト部に指定されている装置に接続し、アドレス情報を取得する。

【0086】

例えば、図2のシステム構成において、図8に示すアドレス情報1001を例にとると、「172.20.1.12」がホスト部に該当し、「172.20.1.12」（図2の情報処理装置202）に対して、プロトコル部で指定されている、HTTPプロトコルを用いて通信し、ファイル部で指定されている、adr.aspファイルにアクセスする。

【0087】

この時、図2の情報処理装置202において、adr.aspに対するアクセス要求を受信したWWWサーバ307は、アドレス情報変換プログラム303を起動し、アドレス帳305に保存されている、図11に示すアドレス情報を、図12示すXML形式に変換する。図5のアドレス情報で、「名前」項目は、図12のXMLファイルにおける、<name>タグ及び</name>タグで囲まれた部分に、「FAX番号」項目は、<fax>タグ及び</fax>タグで囲まれた部分に、「電子メール」項目は、<email>タグ及び</email>タグで囲まれた部分に、夫々変換される。このXML形式に変換されたアドレス情報を、MFP201に送信することで、MFP201は情報処理装置202のアドレス情報を取得する。なお、図11に示したアドレス情報は、便宜上、表形式で表現したが、実際にはデータベースに保存されているデータであったり、バイナリ形式でファイルに保存されているデータであることは言うまでもない。

【0088】

そして、ステップS505で、アドレス情報URL項目で指定されているアドレス情報が取得されたかどうかをシステム制御部403が判定し、取得できないと判定した場合は、ステップS507で、システム記憶域411に保存される外部アドレスボタン表示フラグを「OFF」にし、取得できたと判定した場合は、ステップS506で外部アドレスボタン表示フラグを「ON」にして、処理を終了する。

【0089】

このようにして図10のフローチャートに示した処理を終了後、タッチパネルは、図5に示すタッチパネル606の様な表示に切り替わる。

【0090】

ここで、アドレスボタン609を押下すると、タッチパネルは、図8に示すようにアドレス情報を表示しファクシミリ送信先の選択を行う。先に述べた、図10のステップS506或いはステップS507の処理で設定された外部アドレスボタン表示フラグが、ONであれば、図6の外部アドレス表示ボタン804を表示し、それと同時に、アドレス表示域801に、図10のステップS505で取得した、アドレス情報を表示する。一方、外部アドレスボタン表示フラグがOFFであれば、図6の外部アドレス表示ボタン804は表示させず、アドレス表示域801には、機器アドレスボタン807が押された状態と同様に、当該MFP内の機器アドレス帳に保存されているアドレス情報を表示する。

なお、本実施形態では、MFPのファクス送信における、アドレス表示及び選択例を示したが、図15の1501に示すように、アドレス位置情報が示すアドレス帳に、ファクス番号と共に、電子メールアドレスが記憶されており、該MFPで電子メール送信が可能である場合は、電子メール送信処理において電子メールアドレスを表示、選択することが可能であることは言うまでもない。

【0091】

以上、説明したように本実施形態によれば、MFP使用時に入力するユーザ名に対応するアドレス情報URLから、任意の通信媒体を介して接続可能な情報処理装置に保存されているアドレス情報を取得して、表示装置上に表示することに

より、日常的に利用しているアドレス情報をMFPの操作パネルから、参照及び利用可能にするものである。

【0092】

なお、本実施形態において、アドレス情報制御プログラムはフロッピーディスクドライブ110の中にセットされたフロッピーディスクに記録されており、その内容を図14に示す。

【0093】

図13は、本発明に係る情報処理装置における制御プログラムインストール処理状態を説明する図であり、本実施形態では、FD1302に記録されたアドレス情報制御プログラム及び関連データは、図13に示すようにフロッピーディスク装置(FDD)1301を通じて情報処理装置にロードすることが出来る。

【0094】

図13において、1301は情報処理装置のFDD、1302はフロッピーディスクで、各種の制御プログラム実行ファイルとプログラムデータファイルが記憶されている。

【0095】

図14は、図13に示したFD1302のメモリマップを説明する図であり、ボリューム情報1201に従いアドレス情報制御プログラム実行ファイル1202、アドレス情報制御プログラムデータファイル1203、ファイル位置情報1204等が記憶されている状態に対応する。

【0096】

図15は、本発明に係る情報処理装置における主記憶領域のメモリマップの一例を示す図であり、図1に示したRAM102に対するメモリマップを示している。

【0097】

図15において、1101はOSで、ハードディスク112からロードされる。1102はプリンタドライバ等を含む各種ドライバ、1103はワーク領域、1104はデータ領域である。

【0098】

ユーザはFD1302をFDD1301に挿入し、情報処理装置における図15に示すオペレーティングシステム(OS)1101及び各種ドライバ1102の制御により、アドレス情報制御プログラム実行ファイル1202、並びに関連データ(アドレス情報制御プログラムデータファイル1203)をRAM102に読み込むことで動作させることが可能である。

【0099】

また、アドレス情報制御プログラム並びに関連データをFD110から一度HD112に格納しておき、プログラムを使用する段にRAM102にロードするようにしてもよい。

【0100】

また、アドレス情報制御プログラム並びに関連データを記録する媒体は、FD以外にCD-ROM、メモリカード等でも良い。

【0101】

〔第2実施形態〕

上記第1実施形態では、情報処理装置内のアドレス情報を取得したが、図2の203の様に、ネットワークに接続された、HTTPプロトコルを認識し、アドレス情報を出力可能な複合機能装置でも構わない。

【0102】

本実施形態によれば、常用している複合機能装置のアドレス情報を、ネットワークを経由して接続可能な他の複合機能装置から参照、利用することが可能になる。

【0103】

〔第3実施形態〕

第1実施形態で、図3のWWWサーバ302はFTPサーバなど、他のデータ転送が可能なプロトコルを利用するプログラムに置き換えても構わない。

【0104】

本実施形態によれば、多量のメモリを消費し、CPU性能の高さも要求するようなプログラムを稼動できない情報処理装置あるいは複合機能装置においても、本発明によるアドレス情報の取得を可能にするものである。

【0105】

なお、上記第1～第3実施形態を適宜組み合わせることも本発明の適用範囲である。

【0106】

上記実施形態によれば、複合機能装置を利用する際に入力する認証情報と、通常利用している他装置のアドレス情報を示すアドレス情報URLを関連付けて登録し、複合機能装置からアドレス情報を参照する際に、アドレス情報URLで指定されたアドレス情報を取得し表示するので、異なる装置間でアドレス情報の参照、利用するデータ処理環境を自在に構築することができ、ユーザの利便性を格段に向上させることができる。

【0107】

以下、図16に示すメモリマップを参照して本発明に係る情報処理装置、複合機能装置から構成されるシステムで読み出し可能なデータ処理プログラムの構成について説明する。

【0108】

図16は、本発明に係る情報処理装置、複合機能装置から構成されるシステムで読み出し可能な各種データ処理プログラムを格納する記憶媒体のメモリマップを説明する図である。

【0109】

なお、特に図示しないが、記憶媒体に記憶されるプログラム群を管理する情報、例えばバージョン情報、作成者等も記憶され、かつ、プログラム読み出し側のOS等に依存する情報、例えばプログラムを識別表示するアイコン等も記憶される場合もある。

【0110】

さらに、各種プログラムに従属するデータも上記ディレクトリに管理されている。また、各種プログラムをコンピュータにインストールするためのプログラムや、インストールするプログラムが圧縮されている場合に、解凍するプログラム等も記憶される場合もある。

【0111】

本実施形態における図 1 0 に示す機能が外部からインストールされるプログラムによって、ホストコンピュータにより遂行されていてもよい。そして、その場合、CD-ROM やフラッシュメモリや F D 等の記憶媒体により、あるいはネットワークを介して外部の記憶媒体から、プログラムを含む情報群を出力装置に供給される場合でも本発明は適用されるものである。

【 0 1 1 2 】

以上のように、前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記憶媒体を、システムあるいは装置に供給し、そのシステムあるいは装置のコンピュータ（または C P U や M P U ）が記憶媒体に格納されたプログラムコードを読み出し実行することによっても、本発明の目的が達成されることは言うまでもない。

【 0 1 1 3 】

この場合、記憶媒体から読み出されたプログラムコード自体が本発明の新規な機能を実現することになり、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成することになる。

【 0 1 1 4 】

プログラムコードを供給するための記憶媒体としては、例えば、フロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、CD-R、磁気テープ、不揮発性のメモリカード、ROM、EEPROM等を用いることができる。

【 0 1 1 5 】

また、コンピュータが読み出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼働している O S （オペレーティングシステム）等が実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【 0 1 1 6 】

さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメ

モリに書き込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPU等が実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0117】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明に係る第1～第45の発明によれば、入力される識別情報を管理されている識別情報と比較して認証した後入力された識別情報に対して関連付けられているアドレス位置情報を検索し、該検索された前記アドレス位置情報に基づき、特定の情報処理装置に対して利用可能な通信情報の取得要求を前記特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置に対して行い、該要求に基づいて特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置から出力される通信情報を取得するので、自機以外の特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置で管理されている通信情報を共有情報として容易に利用することができる利便性に優れたデータ処理環境を自在に構築することができる。

【0118】

また、複合機能装置またはデータ処理装置が他の複合機能装置から要求される通信情報を受信した場合に、該他の複合機能装置で利用可能な通信情報に変換して要求元の複合機能装置に転送するので、複合機能装置またはデータ処理装置が独自のデータ形式で管理されている他の通信情報であっても、他の複合機能装置で容易に利用可能な通信情報を転送できる利便性に優れたデータ処理環境を自在に構築することができる等の効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の第1実施形態を示す情報処理装置の構成を説明するブロック図である。

【図2】

本発明に係る情報処理装置、複合機能装置から構成されるネットワークシステムの構成を説明する図である。

【図 3】

図 1 に示した情報処理装置内のソフトウェア構成を説明するブロック図である。

【図 4】

図 2 に示した複合機能装置（MFP）の制御構成を説明するブロック図である。

【図 5】

図 2 に示した MFP の操作パネルの一例を示す平面図である。

【図 6】

図 5 に示したタッチパネルに表示される操作画面の一例を示す図である。

【図 7】

図 5 に示したタッチパネルに表示される操作画面の一例を示す図である。

【図 8】

図 2 に示した MFP の内部メモリに確保されるユーザテーブルの一例を示す図である。

【図 9】

図 5 に示したタッチパネルに表示される操作画面の一例を示す図である。

【図 10】

本発明に係る MFP におけるデータ処理手順の一例を示すフローチャートである。

【図 11】

本発明に係る情報処理装置において管理されるアドレス情報の一例を示す図である。

【図 12】

本発明に係る MFP において管理されるアドレス情報の一例を示す図である。

【図 13】

本発明に係る情報処理装置における制御プログラムインストール処理状態を説明する図である。

【図 14】

図 1 3 に示した F D のメモリマップを説明する図である。

【図 1 5】

本発明に係る情報処理装置における主記憶領域のメモリマップの一例を示す図である。

【図 1 6】

本発明に係る情報処理装置、M F P から構成されるシステムで読み出し可能な各種データ処理プログラムを格納する記憶媒体のメモリマップを説明する図である。

【符号の説明】

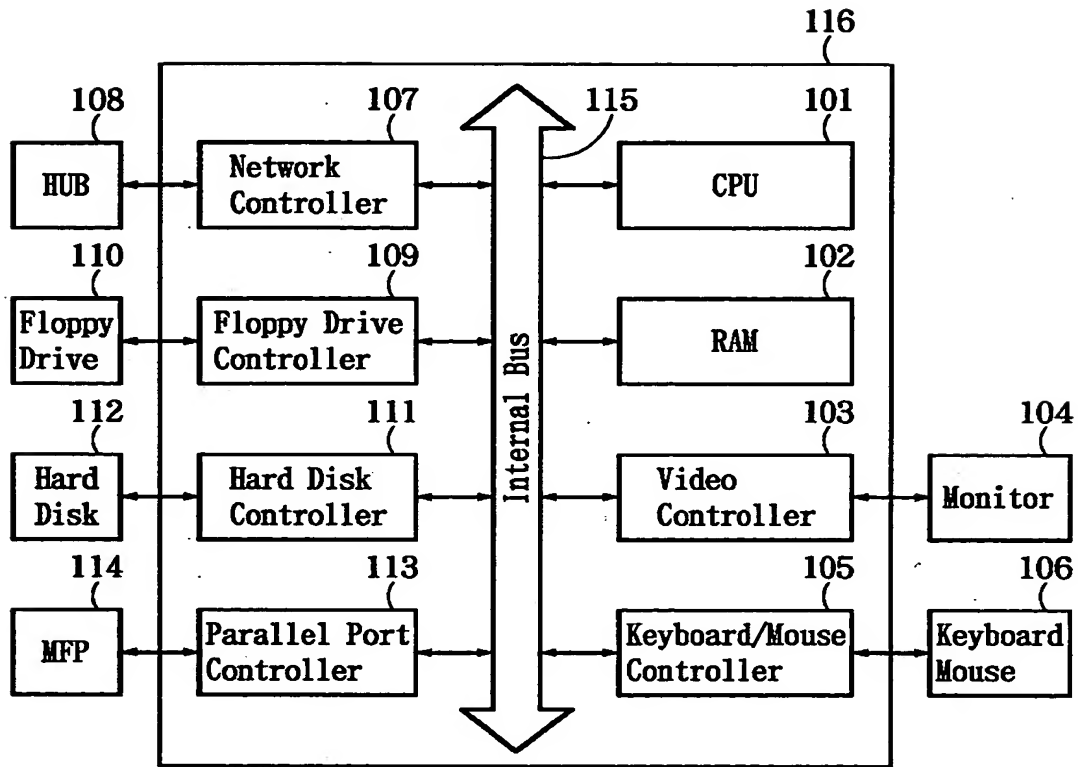
1 0 1 C P U

1 0 2 R A M

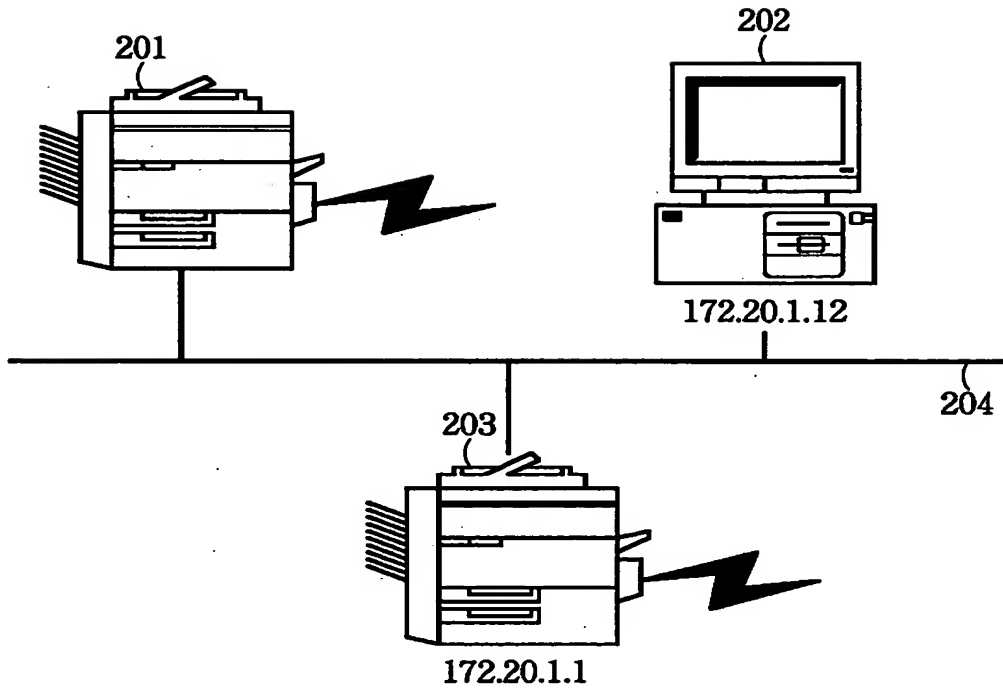
1 1 4 複合機能装置 (M F P)

【書類名】 図面

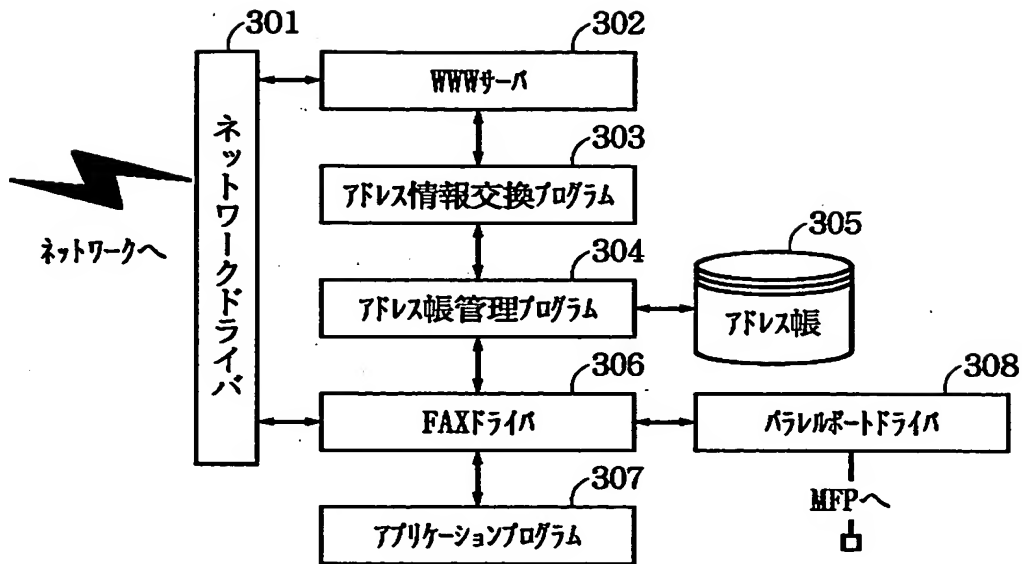
【図 1】



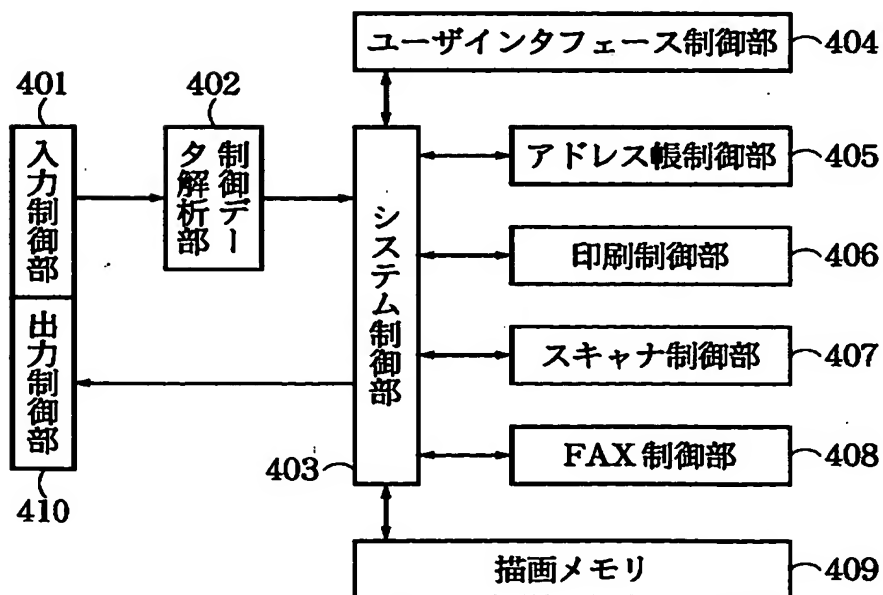
【図 2】



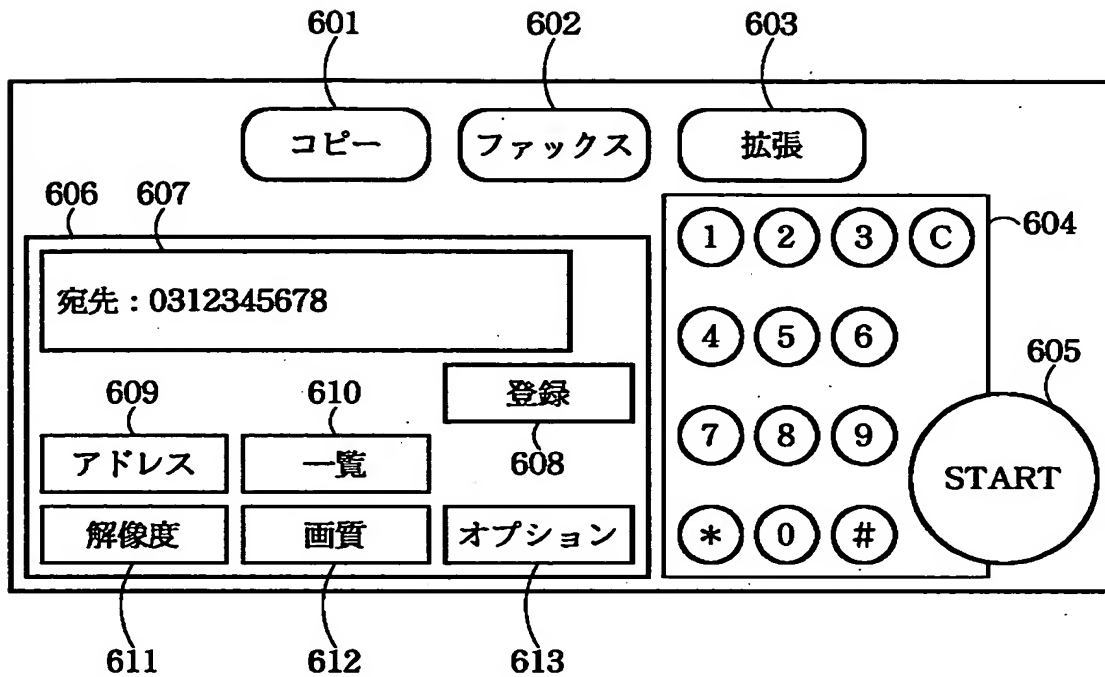
【図 3】



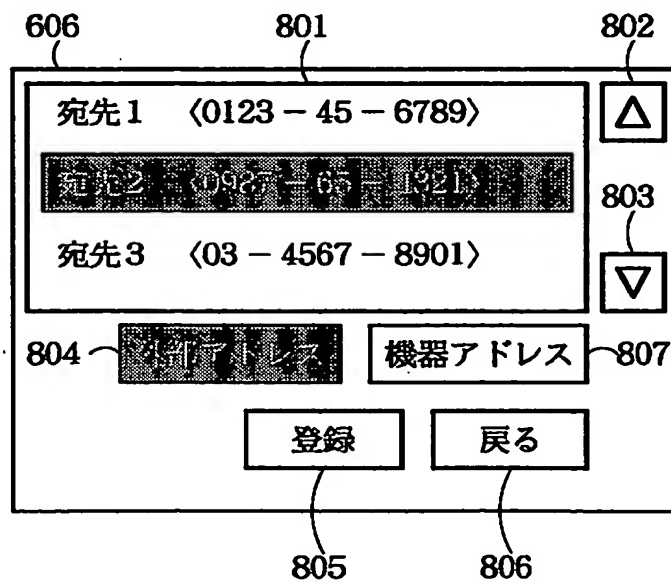
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【図 7】

606

アドレス情報 URL : 901

902

A	B	C	D	E	F	G	H	J	I	J	K
L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
W	X	Y	Z	&	-	!	:	.	-		

設定 戻る

903 904

【図 8】

ユーザ名	パスワード	アドレス情報URL
1231	0123	ftp://172.20.1.1/adr.txt
1234	5678	http://172.20.1.12/adr.html
1236	6321	

1001

1002

【図 9】

606

ユーザ名 :

1234

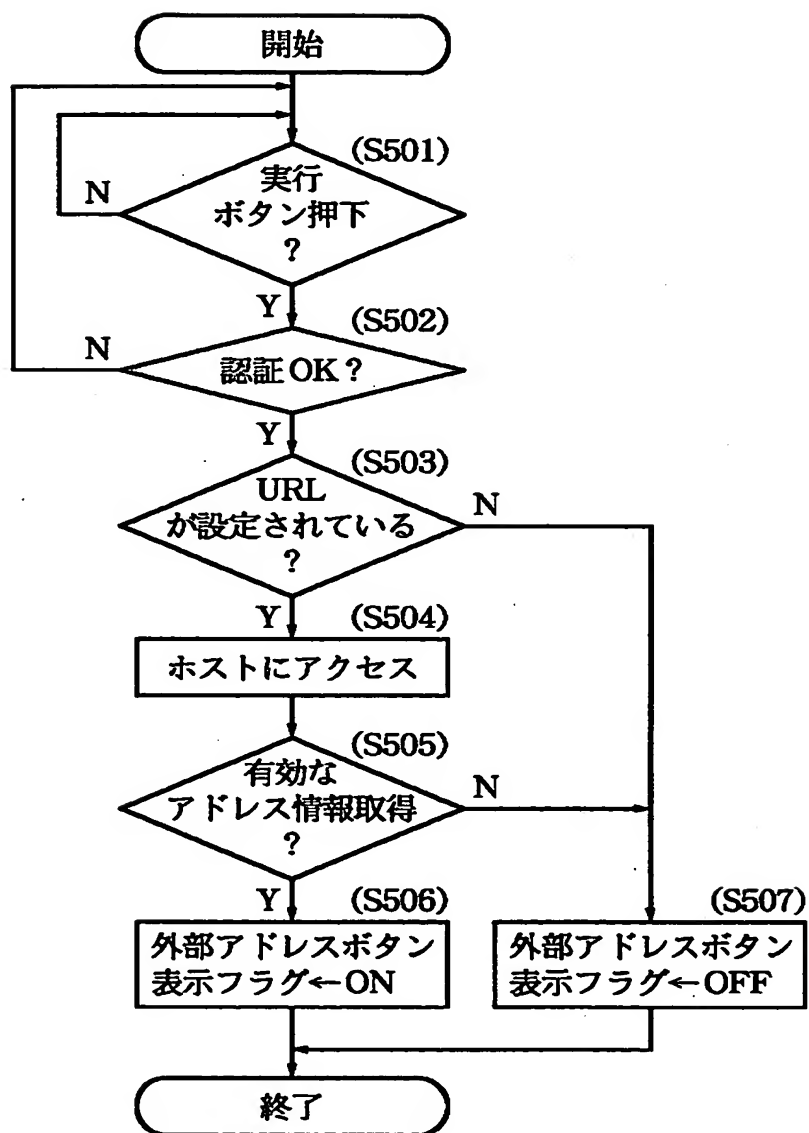
↑ ↓

パスワード :

実行 クリア

701 705 702 703 704

【図10】



【図 1 1】

名前	FAX 番号	電子メールアドレス
宛先 1	0123 - 45 - 6789	123 @ ab.com
宛先 2	098 - 765 - 4321	
宛先 3	03 - 4567 - 7890	987 @ zyx.org

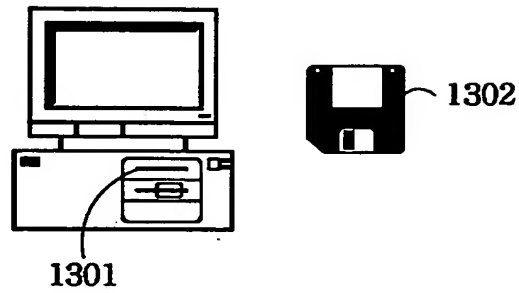
【図 1 2】

```

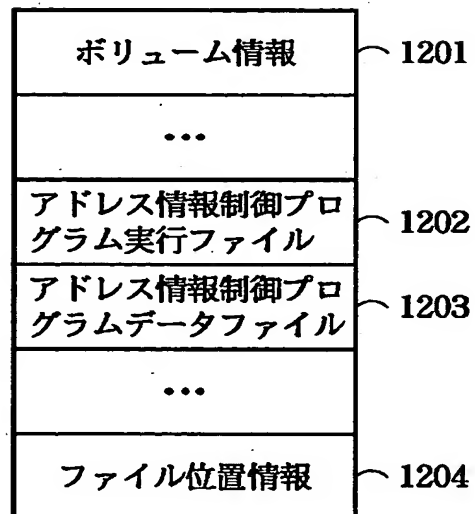
<? xml version="1.0" ?>
<Address number="3">
  <item>
    <name> 宛先 1 </name>
    <fax> 0123 - 45 - 6789 </fax>
    <e-mail> 123@ab.com </e-mail>
  </item>
  <item>
    <name> 宛先 2 </name>
    <fax> 098 - 765 - 4321 </fax>
  </item>
  <item>
    <name> 宛先 3 </name>
    <fax> 03 - 4567 - 7890 </fax>
    <e-mail> 345pzvx.org </e-mail>
  </item>
</Address>

```

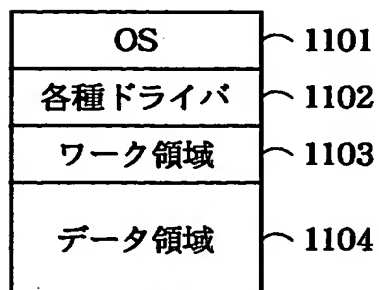
【図 1 3】



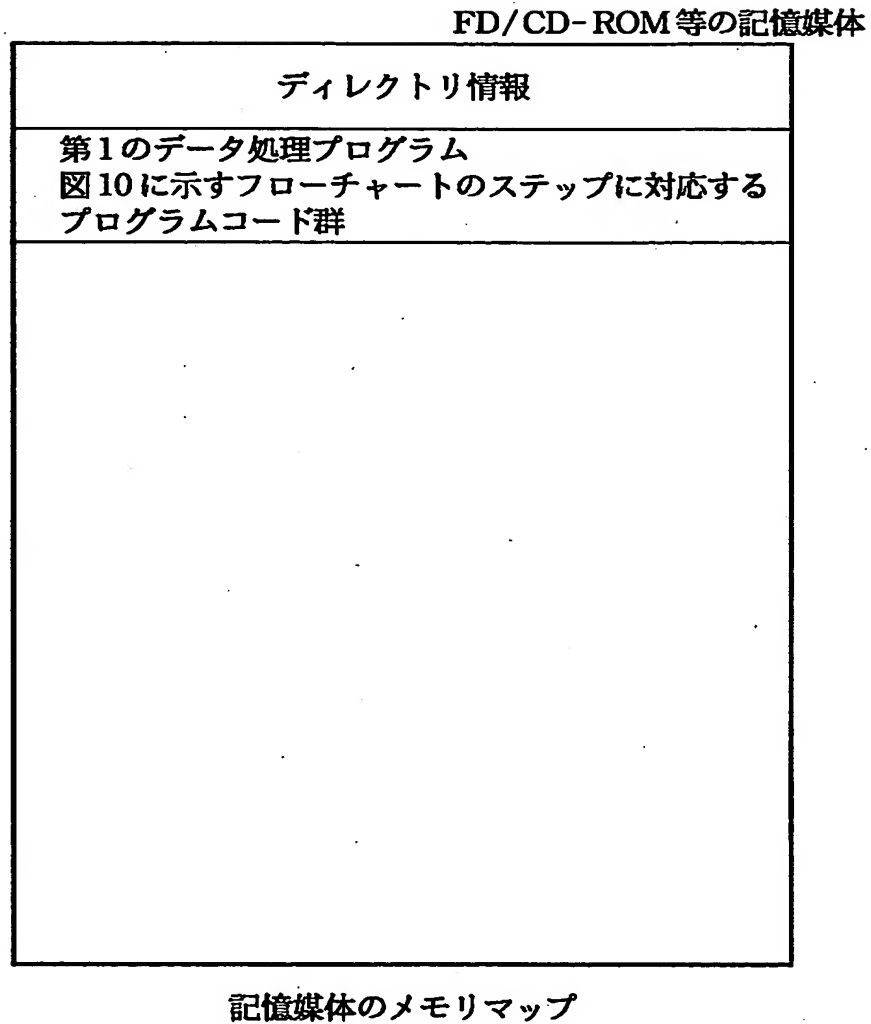
【図 1 4】



【図 1 5】



【図 1 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 自機以外の特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置で管理されている通信情報を共有情報として容易に利用することである。

【解決手段】 システム制御部 4 0 3 が操作部から入力される識別情報を管理されている識別情報と比較して認証した後、入力された識別情報に対して関連付けられているアドレス位置情報を検索し、該検索された前記アドレス位置情報に基づき、特定の情報処理装置に対して利用可能な通信情報の取得要求を特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置に対して行い、該要求に基づいて特定の情報処理装置あるいは他の複合機能装置から出力される通信情報を取得する構成を特徴とする。

【選択図】 図 4

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001007]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

氏 名 キヤノン株式会社